



# 1月園だより

令和7年1月4日

目黒区立田道保育園長

## 新年あけましておめでとうございます。

田道保育園には時々、不思議なことが起こります。5月に4、5歳クラスが砧公園に遠足に行った際のできごとです。楽しみしていたお弁当を食べ終わると、シートの上に食べかけのきゅうりが置いてありました。ある時は5歳児クラスの床が濡れていて、窓ガラスに緑色の足跡がついていることもありました。先日は、5歳児クラスが稲の雀よけに作った案山子の顔が、かっぱになっていることもありました。子どもたちは「かっぱおやじのしわざだ」と口をそろえて言います。このようなことが度々起きるので、子どもたちは「こわい、今度はいつくるのだろ」「次はどんな、いたずらをするのだろ」と友達同士で顔を見合わせて会話しているのをよく見かけます。しばらく何もおこらないと「最近、かっぱおやじこないね」と寂しそうに言う姿も見られます。ちょっとドキドキするけれど、子どもたちはかっぱおやじの存在が気になるようです。運動会終了時に「くじら組の子どもたちへ」とかっぱおやじから手紙が届きました。手紙を読んでみると「よく頑張った、かっこよかったよ」という内容でした。その日を境に怖かったかっぱおやじに愛着を感じるようになり、クラスにポストを作り、かっぱおやじ宛に手紙を書くようになり、やり取りを楽しむようになりました。先月のにこにこ子ども会の5歳児クラスの劇は「おむすびころんとかっぱたち」の題材で発表しました。子どもたちの中では、かっぱおやじはクラスの一員になっているようです。劇終了後、「かっぱおやじ、見ててくれたかな」「がんばったねといってくれるかな」をつぶやく姿が見られ、子どもたちはかっぱおやじの存在が大きく、励みとなっていることが感じ取れました。今後、子どもたちとかっぱおやじはどのように過ごしていくのでしょうか。今年もかっぱおやじから目が離せません。



### 今月の予定

新年おめでとう会  
乳児お楽しみ会  
でんどうランド

身体測定・避難訓練



### クラス懇談会

5歳児クラス  
0歳児クラス  
3歳児クラス  
1歳児クラス  
2歳児クラス

\*4歳児クラスは  
来月実施予定です



### 『食べる意欲を育む』

調理・栄養士

昨年の夏はクラスで栽培した野菜を収穫して食べる経験ができました。その中でもいるか組が育てた三尺豆はたくさん採れたので、1回目の収穫では塩茹でて素材の味を味わい、2回目は子どもたちから「みそ汁に入れたい」とリクエストがあり、みそ汁に入れて食べました。収穫した野菜を子どもたちが決めた味付けで目の前で調理すると「いい匂いがしてきたよ」「今日は醤油味だね」「ジューって音がする」「泡がブクブクしてきたよ」など、目・耳・鼻を使って様々なことを感じていました。自分達で一生懸命育てた野菜の味は格別で「苦手な野菜も食べられたよ」と嬉しそうに話してくれる姿を嬉しく思いました。

子どもたちの保育園生活の中でも給食を楽しみにしてもらえるように安心、安全で美味しい給食作りを心がけています。





## 室内遊びの様子（幼児クラス）

### 『 崩れても直せばいいんだよ 』

#### 3歳児クラス（ぺんぎん組）

登園すると汽車レールのあるコーナーで線路や汽車を繋げています。子ども同士で「ここを繋げようよ」「いいね」と話したり「ジョイント持ってくるから押さえててね」と伝えたりしています。積み木を使って上にも線路が通るような“高架橋”にしたり、長い坂道を作り加速させたり、高低差を付けて交差したりするジェットコースターのような“線路”を作ったりする子どももいます。坂の上から汽車を走らせスピードが出ると、嬉しくて友達と顔を見合わせて笑っています。互いに熱中しているからこそ、手が当たり、壊れてしまうこともあります。「壊れても大丈夫。直せばいいんだよ」と友達に前向きな言葉をかけて、すぐに直そうとする姿に優しさを感じます。保育士の仲立ちが必要な場合もありますが、友達とやり取りしながら遊ぶことを楽しんでいます。



### 『 キャンプに行こう 』

#### 4歳児クラス（いるか組）

にこにこ子ども会を終えて、いるか組ではごっこ遊びがさらに盛り上がっています。先日、休みの日にキャンプに行ったことを教えてくれた子どもがいました。それを聞いていた友達が「じゃあ今日は皆でキャンプに行こう」と家族ごっこでキャンプのおでかけに出発です。リュックを持って部屋をぐるっと回ると、キャンプ場に到着しました。「今日はここで星を見よう」「網を使ってバーベキューをしようよ」「じゃあこの石で火を付けるよ」と楽しかった出来事が子どもたちのイメージでどんどん膨らんでいきます。子どもたち同士で料理を作る人、箱と布を組み合わせテントに見立てて作る人と“キャンプ”だけでも沢山のアイデアが出ていて、面白いです。午前中の遊びでは終わらず「後で続きしようね」と自然と友達同士で約束する姿もあり、今いるか組で楽しんでいる遊びの一つとなっています。

### 『 考えて組み立てて転がして 』

#### 5歳児クラス（くじら組）

スカリーノの積み木を使ってビー玉転がしをすることが盛り上がっています。最初は長く繋げて坂道を転がすように楽しんでいましたが、今では積み木の穴の場所やビー玉の出てくるところを考えながら見えない道を通り、再びビー玉が出てくるという複雑な組み立てをしています。真剣な表情で完成させ、何度もビー玉を転がすと、今度は「こっちに出てきたら大吉ね。」「こっちは大吉だよ。」と言って友達や保育士を誘ってくれます。あまりの複雑さと突然のビー玉の再出現に保育士や友達が驚くと「ね、すごいでしょ」「もう一回やってみて」と言い、その表情や声色は喜びと自身に満ち溢れています。それを見ていた友達も同じものを作ろうと真似をしたり「どうやって作ったの」と作り方を聞いたり教え合ったり仲間に入ったりしていくうちにいつの間にかとても大きなものへと仕上がっていきます。予測したり試したり沢山考えながら作ること、友達と話し合いながら協力し遊ぶ姿にも成長を感じます。

